

商工会連合会報

特別号
第500号
平成26年9月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)
○購読料・1部10円(会費に含む)/各奇数月1日発行

No.1

S36.9.10

No.100

S50.1.1

No.200

S58.5.1

No.300

H3.9.1

No.400

H12.1.1



特集

佐竹^{知事}

×

村岡^{会長}

対談

Satake
Norihisa

Muraoka
Yoshio

since 1961

特別号

500

This is

秋田県商工会連合会ホームページ「商工会あきたネット」
<http://www.skr-akita.or.jp/>

- ◇第500号特別企画① 佐竹知事と村岡会長の対談
「中小企業の新たな一歩に期待すること」……………p2.3
- ◇平成26年度 秋田県商工会連合会 上半期活動報告
(県連通常総会・新会長の横顔 他)……………p4
- ◇平成26年度 青年部・女性部 上半期活動報告……………p5
- ◇中小企業・小規模事業者政策
(小規模企業振興基本法・秋田県中小企業振興条例・中小企業白書)……………p6
- ◇全県商工会おもてなしまつり2014
来てみて♥食べて♥「べっぴんさん品」……………p7
- ◇第500号特別企画② 「県連会報で振り返る時代の変遷」……………p8.9
- ◇ネットde記帳 ～「普及促進運動」実施中～……………p10
- ◇商工貯蓄共済・会員福祉共済PR……………p11
- ◇秋田県商工会地域景況判断ボード……………p12

特集

県連会報第500号特別企画

中小企業の

新たな一歩に
期待すること

Conversation

知事
佐竹
×
村岡
会長

秋田県商工会連合会報は、昭和36年9月に県連機関紙として第1号を創刊し、50年以上に渡り中小企業と商工会活動を情報発信してまいりました。今回は500号の発行を記念し「佐竹知事」と「村岡会長」の対談を企画いたしました。

「小規模企業振興基本法」と

「秋田県中小企業振興条例」

村岡 商工会では、平成12年から全国に先駆けて、商工会合併による経営支援機能強化のための「組織改革」組織のスリム化で事業の効率化を目指す「構造改革」、機能する人材の育成と活用のための「人材改革」の商工会3大改革を推進し、期待にこたえられる組織づくりに努力してまいりました。

この度「秋田県中小企業振興条例」が施行され、商工会念願の「小規模企業振興基本法」も成立したことから、今まであまり光の当たらなかった小規模企業に大きな追い風が吹いてきており、商工会のこれまでの成果を示す絶好の機会と捉えております。

はじめに今回の条例制定の経緯についてお聞かせください。

佐竹 かつての日本は、「ものづくり大国」として大手製造業が経済を牽引してきました。しかし、現在は、日本企業が次々と製造拠点を新興国等の海外へ移すなど、経済のグローバル化が加速しています。

こうした経済構造の変化の中で、国では、経済政策を地方の隅々まで浸透させるため、「小規模企業振興基本法」を制定しました。

本県でも、人口減少に伴う国内市場の縮小が進む中で、否応なしに時代の変化への対応を迫られています。一方で、地域の特色を活かしたものがづくりが再認識されはじめており、事業の展開によつては飛躍を遂げる大きなチャンスでもあります。本県経済において、地域に根差した中小企業は重要な役割を担っています。すから、県内中小企業の競争力強化をオール秋田で応援するために「秋田県中小企業振興条例」を制定しました。

村岡 今後、この法律や条例を踏まえた施策を実効あるものとするために、県が商工会に期待することをお聞かせください。

佐竹 主役は、規模の大小を問わず、意欲を持って自らの創意工夫によつて「自立型」「創造型」の企業を目指す中小企業です。そして、個々の企業に密着し、リーダーシップを発揮するのは商工会をはじめとする商工団体の役割だと思っています。どの

ようにして、地域の特色を活かしながら、国や県の多様な制度とマッチングさせるか、これまで以上に専門的なアプローチ、目利き力やコーディネート力が重要になってきます。商工会のこれからの頑張りを期待しています。

「第2期ふるさと秋田元氣創造プラン」

村岡 県の基本政策として「第2期ふるさと秋田元氣創造プラン」がありますが、知事が目指す「高質な田舎」を思い描きながら「日本に貢献する秋田、自立する秋田」を実現させるための、具体的な政策についてお伺いします。

佐竹 「第2期ふるさと秋田元氣創造プラン」の大きな柱は、人口減少対策です。人口減少は、本県に限らず国全体の問題であり、一朝一夕の特效薬が無い中で、本県は人口減少や少子高齢化が特に進んでいます。どう対応していくかが非常に大きな課題だと思っています。

プランでは、人口減少や少子高齢化に対しては、結婚や子育て支援といった少子化対策や県外からの移住などの現象面に対応した施策と、産業振興や企業誘致等を通じた雇用の場の確保といった構造面からの施策を講じています。

一方で、人口が減少する中にあっても、いかにして本県の経済規模を維持し、また、行政サービスを維持するかといった視点からの施策も

村岡 今回は、私どもの県連会報が第500号の発行を迎えるに当たり、特別企画として日頃からご支援いただいております佐竹知事にお話を伺いたいと思います。

まずは、今年の4月に「秋田県中小企業振興条例」を制定していただいたことは、商工会や県内各地域の事業者にとって、これほど心強いものはなく、この場を借りてあらためて感謝申し上げます。



講じています。人口減少に伴って経済が落ち込んでしまうと、県民一人当たりの所得等も減少してしまいます。これをくい止めるには、生産性と付加価値の向上が不可欠です。

生産性と付加価値の面から言うところ、全ての産業分野において本県は低位にあります。逆に言うと、低位にあるからこそ、頑張れば伸びることが期待できる、伸びしろがあるんですね。中小企業における生産性と付加価値の向上の必要性は、「秋田県中小企業振興条例」に直接結びつく施策です。

村岡 秋田県は自然エネルギー・農業県として全国でもトップクラスですが、資源を活かすために、地域の中小企業はどのような取り組みが必要でしょうか。

佐竹 まず、新エネルギーや自動車などの新たなリーディング産業の育成に力を入れていきます。

本県は風力、太陽光、水力、バイオマス、地熱等の自然エネルギーに拡大の余地があるんですね。国内では、将来的に再生可能エネルギーのウエイトが高まっていくでしょう。自動車産業は、エコカー移行へ拍車をかけるものと思われ、水素燃料電池車の実用化や市場投入によって、日本における水素エネルギーのビジネスモデルが本格化します。また、将来、シエールオイルやメタンハイドレートの資源開発に係る国家プロジェクトがスタートします。

今後の経済成長の中軸となるであ



ろう産業に対し、県内中小企業がいかにアプローチし、関与していくかが重要です。県内中小企業の技術力で「エネルギー供給県」を実現したいと考えています。

もう一つは、本県は農業県ではありますが、残念なことに農産物加工・六次産業が弱いのです。日本は、大量の加工食品や漢方薬の原材料等の多くを海外から輸入しています。しかし、輸入食品は価格こそ安いですが、昨今、健康被害などの問題も多いです。すね。ですから、国民の皆さんの「少々値段が高くても国内産は安全安心だ」という認識が高まることによって、農産物を活用した六次産業はこれから大きな伸展が期待できます。農業と商工業が連携するなど、業種の枠を超えた取り組みが求められます。

さらには、林業・木材産業の振興です。近年、海外では自然保護の観点から外国に木材を輸出しない傾向にありますので、杉材を中心に、県産材の付加価値を高めていくことが重要になってきます。



村岡 秋田県は食や観光資源にも恵まれており、私も商工会でも、「全県商工会おもてなしまつり2014」等で秋田の魅力を発信し

てまいります。

知事は秋田の観光と中小企業の関わりについてどのようにお考えでしょうか。

佐竹 これまでの本県の観光を例えると「幕の内弁当」でした。あれもこれもと詰め込んで、一度に全てを提供するから、結局一つも印象に残らない。これからは、観光においても、地域の特色を打ち出していくことが重要です。

海外からの観光客は、東京・大阪などの都市観光、京都・奈良などの古都観光を一巡すると、次は日本の原風景をと、地方の景観観光に対するニーズが高まっているそうです。

観光の誘客ビジネスは、正に中小企業の分野であり、地場産業、宿泊・飲食サービス業、商業などが一体となって取り組む必要があります。「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」においても、交流人口の増大による販路拡大の視点から重視しており、県や市町村が商工団体などと官民一体となって進め、地域経済への波及効果を拡げることが目標の一つです。

グローバル化が加速度的に進み、日本全体の活力が低下している中で、本県には、食料、木材、鉱物資源、エネルギー資源に加え、観光や歴史文化など豊富な資源があります。県内の中小企業が、もう一度足元を見つめ直して、今ある秋田の有形無形の資源を時代に合った形で上手に組み合わせて、大企業任せにしないで、自らが活用していくことにより、「日

本に貢献する秋田」として再び存在意義を発揮できます。厳しい状況の中にこそチャンスはあるんです。「自立する」という気概を持って、積極的に挑戦していく姿勢が求められています。私も「チーム秋田」の先頭に立ってチャレンジしていくので、商工会も、幅広い視点と柔軟な発想で取り組んでいただきたいです。

村岡 知事から様々な考えを伺い、商工会に求められる役割と重要性を再認識することができました。

また、商工会活動を通じて「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の実現に貢献できるように、これまでに以上に職員のスキルアップと支援機能の強化を図ってまいります。本日は貴重なお話をありがとうございました。



平成26年度 秋田県商工会連合会 上半期活動報告



県連通常総会

秋田県商工会連合会の通常総会が去る5月23日に開催されました。総会では村岡会長が「国や県をあげて小規模事業対策を大きく拡充しようとしており、商工会は、各種事業の直接的な実施団体としてますます期待感が高まると同時にその力が試されることになる。今後ひとりでも多くの会員事業者が政策効果に恵まれるよう、役職員が一丸となった事業推進体制の整備にご尽力いただきたい。」と挨拶しました。議案審議では役員の欠員に伴う補充選任をはじめ、平成25年度事業報告書、一般会計・特別会計収支決算書等、全議案が承認決定されました。

経営支援強化 決起集会

県内の商工会事務局長・経営指導員総勢144名が参加し「平成26年度経営支援強化決起集会」を6月3日に開催しました。

県産業政策課の水澤課長と全国連の勝野専務理事から激励を込めた記念講演をいただいた他、県内21商工会の事務局長・経営指導員を代表して、佐々木隆太経営指導員（美郷町商工会）が、「商工会の使命を果たすために、私たちの強みである



・「聞き取り力」
・「目利き力」
・「実行力」
・「つなぎ力」
・「ネットワーク力」

の5つの力をさらに強化し、10項目の経営支援目標達成を目指す」と決意を表明しました。

最後に、参加者全員でがんばろう三唱のシュプレヒコールを行い、職員が一丸となつて全力で取り組むことを誓い合いました。



新商工会長の横顔

仙北市商工会

・さかい屋【小売・飲食業】
・堺 研太郎氏(65歳)



- 信条：風を読み、努力する
- 抱負：この度、前会長千葉正登氏の逝去に伴い、新会長に就任する事となりました。仙北市は秋田県の玄関口として、非常に重責を担っている市で、年間に550万人を超える観光客が訪れます。観光客を企業活動に取り込み、秋田県が進めている6次産業化の先頭に立った活動を支援し、更に他地域の特産品(稲庭うどん・比内地鶏等)との連携を目指します。また、後継者問題や少子化対策・高齢者問題等企業を取り巻く環境は一層厳しくなりますが、役職員の努力で乗り切っていきます。

三種町商工会

・(株)島新【衣料品小売業】
・嶋田 博光氏(70歳)



- 信条：思い切れば、必ず遂ぐるなり
- 抱負：金子会長の突然の辞意表明に伴い、任期途中で交代になりました。時あたかも三商工会が合併しての三種町商工会が発足して十年の節目に当たります。この時期にこのような職責を担うことは誠に光栄ですが、その責を思うと身の引き締まる思いでもあります。今後、商工会が地元商工業者や地域に対して具体的にどのような働きかけをし、どのような成果をもたらす得るかを改めて問い直したいと思います。会員と役職員のご協力を心からお願い申し上げます。

平成26年度
春の叙勲

◇藍綬褒章

畠山 敏夫（湖東3町商工会員）

◇瑞宝単光章

佐々木善廣（男鹿市商工会員）
宮 良雄（かづの商工会理事）

◇瑞宝双光章

太田 春海（男鹿市商工会員）

◇旭日双光章

樽川 隆（美郷町商工会員）

平成26年度 青年部・女性部 上半期活動報告

県商工会青年部連合会
県商工会女性部連合会
県商工青年同友会

平成26年度

通常総会開催

去る5月8日（木）、県商工会青年部連合会と女性部連合会、商工青年同友会の「通常総会」が開催され、25年度の事業報告及び決算、26年度の事業計画、予算等が原案どおり承認されました。それぞれの主な事業などについてご紹介します。



県商工会青年部連合会

【今年の重点事業】

- ① 部員増強運動を積極的に実施し、組織強化を強力に推進します。
- ② 国の「小規模企業振興基本法」、県の「中小企業振興条例」の制定を契機に青年部企業収益向上

- 上にダイレクトに結びつくような施策の活用や学習の場を設け、経営能力向上支援を図ります。
- ③ 「全県商工会おもてなしまつり2014」会場内で地域資源の販売促進。

県商工会女性部連合会

【今年の重点事業】

- 今年の「おもてなし隊」は「国民文化祭・あきた2014」との連携による商工会ならではの「おもてなし」体制を強化します。
- ① 前年度女性部員の店舗に設置した「おもてなしステーション」の拡充と充実により、観光案内体制を更に強化します。
 - ② 東日本大震災復興支援としての「5000円玉募金」や「エコキャップ回収運動目標160万個」等を継続。
 - ③ 「全県商工会おもてなしまつり2014」でまつりの盛り上げに役かいます。

県商工青年同友会

【今年の重点事業】

- ① 組織リーダーとしての資質向上を図るためのスキルアップ研修の実施。
- ② 中小企業振興条例制定を契機とした県議員連盟との連携強化等政策提言の充実。

商工会女性部主張発表

第12回秋田県大会

6月5日（木）に「商工会女性部主張発表第12回秋田県大会」が開催されました。全県8地区から代表8名が出場し、商工会女性部の日頃の地域活動の成果発表があり、最優秀賞には仙北市商工会女性部の橋本智美さんが選ばれました。

橋本さんは、7月16日に岩手県盛岡市で開催された東北六県・北海道大会にも出場し、優秀賞を受賞され、堂々とした発表に他県の女性部員も心を打たれていたようでした。



商工会青年部全国統一事業

「絆」感謝運動

全県21商工会青年部が、6月10日「商工会の日」に併せて、商工会青年部全国統一事業「絆感謝運動」を実施しました。（※地域の実情に合わせて、前後1週間以内で実施しました。）

秋田県としては、青年部相互の絆の再認識と地域への感謝の思いを込めて各商工会地域の公

共の場所や観光地、海岸・河川等のクリーンアップ活動や交通安全運動等を行いました。



商工会青年部主張発表

第17回秋田県大会

7月2日（水）に「商工会青年部主張発表第17回秋田県大会」が開催されました。各ブロックの代表8名による熱い発表が行われ、最優秀賞にはゆざわ小町商工会青年部の竹谷伸人さんが選ばれました。

同日に実施した経営セミナーでは日本経済新聞社仙台支局長の山本氏を講師に迎え、日経新聞を活用メディアとして経営に必要不可欠な「情報」の重要性を意識づけるとともに、その収集方法、活用手法について講演いただきました。



中小企業・小規模事業者政策

小規模企業振興基本法

が成立

商工会の長年の悲願だった「小規模企業振興基本法」が6月20日に成立し、小規模事業者について「成長発展」のみならず、「事業の維持、持続的発展」を図ることが法的に位置づけられました。

基本的施策

1. 多様な需要に応じた商品・サービスの販路拡大、新事業展開の促進
2. 経営資源の有効な活用及び個人の能力の発揮の促進
3. 地域経済の活性化に資する事業の推進
4. 適切な支援体制の整備

また、「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律」も一部改正されました。



全国連主催「小規模企業政策の充実について感謝する集い」で挨拶を述べる安倍総理

秋田県 中小企業振興条例

がスタート

秋田県では、県内中小企業の振興を図り、本県経済の持続的な発展と県民生活の向上に寄与するため、平成26年4月1日に、「秋田県中小企業振興条例」が施行されました。本条例は、意欲を持った中小企業をオール秋田で支援する等の基本理念とともに、県の責務や施策の基本的事項が定められています。

基本的施策

1. 経営基盤の強化【中小企業全体にかかると共通施策】
(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化)
2. 新たな市場の開拓等
(販路の開拓、取引拡大への支援、県産品の利用拡大促進等)
3. 企業競争力の強化
(生産性の向上支援、技術力の強化・製品の高付加価値化支援等)
4. 新たな事業の創出
(事業の多角化・転換への支援、創業の促進)
5. 地域の特性に応じた事業活動の促進
(地域資源を活用した商品の開発支援、商店街の活性化支援等)
6. 人材の育成及び確保
(学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実等)

2014年版 中小企業白書

（小規模事業者への応援歌）

今回の白書は、「小規模事業者への応援歌」と副題にあるように、小規模事業者に焦点を当てた内容となっています。

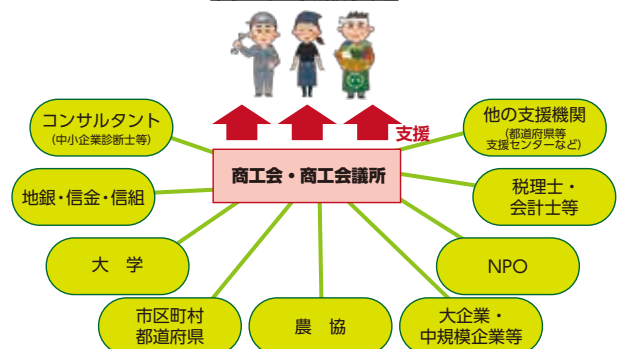
アンケート調査等に基づき、企業・創業、事業承継・廃業、海外展開、新しい潮流といったテーマに沿って実態や課題を分析し、具体的な政策提言を行っており、国・都道府県・市区町村の施策を検索・比較・一覧できる「施策マップ」の開発等、これまでになかった斬新かつ具体的な施策が盛り込まれています。

また、商工会については「支援の現場における中核機能は、まさに商

商工会は、これまで以上にきめ細かく質の高い支援機能が求められていることを再認識し、国や県・関係団体と連携を強化し、小規模事業者がますます活躍できるよう、全力で支援に努めてまいります。



中小企業・小規模事業者



商工会・会議所を中核とした支援イメージ

工会・商工会議所が果たしていくべき役割である・・・。」と実効性のある経営支援体制を整えることが期待されています。

なお、今回の白書の表紙は、全国の中小企業・小規模企業経営者の顔写真で埋め尽くされており、秋田県内の経営者も掲載されており、秋田県内の書店で買い求めただけですが、中小企業庁のホームページからダウンロードできますので、是非ご覧ください。



おもてなしまつり2014

来てみて♥食べて♥
「べっぴんさん品」

今年度のおもてなしまつりは、全国規模イベント「国民文化祭あきた2014」の関連イベントとして、「食を旅する」というコンセプトのもと、各商工会地域の優良特産品「べっぴんさん品」とご当地グルメ「イケめし」を一堂に会した県内最大規模の特産品展示販売会・食の祭典として開催します。

その他、おもてなし隊が来場者皆様をお迎えし、来場者参加型コンテストや各地域の郷土芸能など魅力が詰まった内容で皆様をお待ちしています。

秋田が誇る地域資源「特産品・食・郷土芸能」を満喫できる3日間。是非、お越し下さい。

平成26年

日時 10月11日～
13日

	べっぴんさん品ブース	イケめし・ステージイベント
11日(土)	10:00～17:00	10:00～20:30
12日(日)	10:00～17:00	10:00～20:30
13日(月・祝)	10:00～16:00	

秋田駅前
アゴラ広場
大屋根下



べっぴんさん品とは? 商工会長が推薦する地域の優良特産品であり、全県から選りすぐりの商品が集まります。



イケめしとは?

各商工会青年部が地元の味として推薦・普及するご当地グルメの呼称です。



ステージイベント

※一部時間帯が変更となる場合がございます。



11日 超神ネイガーショー
①11:30～12:30
②15:00～16:00

12日 流しじゅんさい
①13:30～14:30
②16:00～17:00

13日 西馬音内盆踊り
①12:00～12:30
②14:30～15:00

男鹿なまはげ太鼓
①10:30～11:00
②14:30～15:00
③17:30～18:00



秋田県と商工会の動き

35.6.10 商工会法が施行され、以後37年までに67商工会が誕生

36.9.10 秋田県商工会連合会が設立



S36.8.25
初代会長
村岡兼吉 就任



S40.4.22
2代会長
田口鉄蔵 就任



S36.9.10
県連会報第1号を創刊



S52.4.16
秋田県商工会館竣工落成式



S42.6.25
青年部・婦人部の創立総会を開催

48.9.21 無担保無保証の「小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)」が創設



S56.5.15「商工会の組織等に関する法律」の一部を改正

56.7.1 南部広域指導センターが横手商工会議所内に開設

57.7.1 北部広域指導センターが大館商工会議所内に開設



S59.12.20
雄物川町商工会と
県連の間で
記帳機械化事業初の
オンライン処理を開始



S58.10.22 第1回全県
商工会地域特産品フェア



S43.9.10 第1回県商工会
青年部野球大会



S50.2.5 第1回県商工会
婦人部バレーボール大会



H4.5.30
3代会長
三浦兼吉 就任



H6.4.1 鹿角市の3商工会が
合併し、「鹿角市商工会」と
してスタート



S63.9.2 「'88東北むらおこ
し物産展」並びに第6回全県
商工会地域特産品フェア開催



S61.6.25 県青連、県婦連創
立20周年記念式典と68やま
どり国際総連合記念式典を
開催



H10.5.26
4代会長
村岡淑郎 就任

10.3.30 県連のホームページ開設

12.4.1 「商工会婦人部」から「商工会女性部」へ名称変更

13.6.27 商工会合併の手続きが法制化



H14.4.1 法改正後、全国初の
商工会合併で「神岡南外商工会」
「八森峰浜商工会」が誕生



H6.9.23 '94東北むらおこし物産展が開催され
東北6県から50商工会が参加

17.4.1 職員の人事権の一元化など「トータル人事管理システム」を導入



H21.7.2 「商工会活動を
支援する秋田県議会議員
連盟」設立総会を開催



H22.4.1 「よこて市商工会」
が認可され、県内の商工会
数が21となった



H22.11.15
「商工会法施行50周年記念式典」



H23.11.8 「秋田県商工
会連合会創立50周年記念
式典」



H18.10.21~22
「全県商工会おもてなし
まつり2006」開催
(会場:大仙市大曲小学校)

25.4.26県連及び県内21商工会本支所計61機関が「認定支援機関」に認定

年代	世の中の出来事	
昭和	35年 1960 「商工会法」制定	
	36年 1961 ガガーリンが人類初の有人衛星で地球一周に成功	「秋田空港」開港/「秋田まごころ国体」開催
	37年 1962 キューバ危機	
	38年 1963 伊藤博文の千円札発行	
	39年 1964 「東京オリンピック」開催	八郎潟干陸式(大潟村発足)
	40年 1965 米、黒人運動指導者マルコムXが暗殺される	秋田市の市電廃止
	41年 1966 日本の総人口が1億人突破	「尾去沢精錬所」閉炉式
	42年 1967 吉田茂元首相死去	「男鹿水族館」、「県立美術館」、「平野政吉美術館」開館
	43年 1968 3億円事件	
	44年 1969 アポロ11号人類初の月面着陸	八郎潟干拓工事完了
	45年 1970 「大阪万博」開催	
	46年 1971 第48代横綱大鵬が引退	
	47年 1972 沖縄返還	
	48年 1973 オイルショック	「大森山動物園」開園
	49年 1974 戦後初のマイナス成長	「秋田県立球場」開業
	50年 1975 第2次ベビーブーム	「秋田県立博物館」開館
	51年 1976 ロッキード事件	
	52年 1977 王貞治が国民栄誉賞第1号受賞	
	53年 1978 「新東京国際空港(現成田国際空港)」開港	「尾去沢鉱山」坑口閉鎖
	54年 1979 第2次オイルショック	
	55年 1980 1億円拾得事件	
	56年 1981 イギリスのチャールズ皇太子がダイアナ妃と結婚	「新秋田空港」開港(秋田市雄和)
	57年 1982 「東北新幹線」「上越新幹線」開業	
	58年 1983 「東京ディズニーランド」開園	日本海中部地震
	59年 1984 福沢諭吉の壱万円札発行	「全国高校総合体育大会」開催
	60年 1985 「つくば万博」開催	「由利高原鉄道(旧矢島線)」「秋田内陸縦貫鉄道(旧鷹角線)」開業
	61年 1986 ハレー彗星が76年ぶりの地球接近	「東北自動車道」秋田県区間開通
	62年 1987 国鉄民営化、JR発足	
	63年 1988 「瀬戸大橋」「青函トンネル」開通	
平成	元年 1989 消費税施行、税率は3%	「アトリオン」開館
	2年 1990 バブル経済崩壊で株が暴落	「阿仁熊牧場」開園
	3年 1991 東京都庁が新宿に移転し、新東京都庁舎開庁	「秋田自動車道」秋田-横手間が開通
	4年 1992 長崎県で「ハウステンボス」開業	ハタハタ漁の3年間禁漁決定
	5年 1993 サッカーJリーグ開幕	「秋田県立図書館」開館/「白神山地」世界遺産登録
	6年 1994 「関西国際空港」開港	「セリオン」開館/「秋田ふるさと村」オープン
	7年 1995 阪神淡路大震災	「公立美術工芸短期大学」開学/ハタハタ漁解禁
	8年 1996 羽生善治が史上初、将棋のタイトル七冠独占を達成	
	9年 1997 消費税5%スタート	「秋田新幹線」開業/「秋田自動車道」全線開通
	10年 1998 「長野冬季オリンピック」開催	「大館能代空港」開港
	11年 1999 欧州連合(EU)の単一通貨「ユーロ」誕生	「秋田県立大学」開学/「なまはげ館」開館
	12年 2000 2000円札発行(守礼門、源氏物語絵巻)	
	13年 2001 「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」開園	「ワールドゲームズ」開催
	14年 2002 「2002FIFAワールドカップ(日韓共催)」開催	
	15年 2003 「日本郵政公社」発足	「こまちスタジアム」完成
	16年 2004 新潟県中越地震	「国際教養大学」開学/「男鹿水族館GAO」リニューアルオープン
	17年 2005 日本プロ野球 セ・パ交流戦が開幕	
	18年 2006 第1回ワールドベースボールクラシック(日本優勝)	平成の大合併(H16～ 県内市町村数69→25)
	19年 2007 郵政民営化	「秋田わか杉国体」開催
	20年 2008 リーマンショック	「全国植樹祭」開催
	21年 2009 裁判員制度による初の裁判が始まる	
	22年 2010 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還	
	23年 2011 東日本大震災	
	24年 2012 「東京スカイツリー」開業	「秋田市にぎわい交流館AU」開館
	25年 2013 「富士山」世界文化遺産登録	「秋田デスティネーションキャンペーン」開催
	26年 2014 消費税8%スタート/「小規模企業振興基本法」制定	「秋田県中小企業振興条例」制定



S56.6.29 新秋田空港開港を記念した第7回「県商工会青年・婦人の翼」中国研修が、海外便直行一番機となった



H19.9.29 国体開会式会場にて女性部によるウェルカムコール

ネットde記帳～「普及促進運動」実施中～

商工会では、インターネットを利用して帳簿入力や集計ができる経理システム「ネットde記帳」をお勧めしています。経理ソフト及びデータ等を商工会連合会が一元管理していますので、データの保護やセキュリティも安心してお使いいただけます。インターネットに接続できる環境があれば、いつでもどこでも、すぐに利用できます。経営の分析などは商工会等に依頼し、日々の取引を自社で管理したいという方にも最適です。お気軽にご相談ください。

**ネットde記帳
お試しキャンペーン
実施中!**

ネットde記帳が初めての方限定で、
11月30日まで体験利用できる
「お試しキャンペーン」を実施しています。
※詳細は、お近くの商工会まで

ネットde記帳(記帳機械化)の歴史

経営改善普及事業の一環として、昭和39年から、事業経営の基礎である会計帳簿への記帳能力が未熟な小規模事業者に対し、記帳から決算、申告までの一貫した実務を習得させるために記帳継続指導を行ってきました。昭和47年には、県内で初めて八森町商工会(現:白神八峰商工会)が紙テープ端末機を設置し記帳機械化事業がスタートし、平成17年からはインターネットを介した「ネットde記帳」システムを導入し、企業の自計化とIT化の促進を併せて支援できるよう事業を拡大してきました。

今後は、新たに機能拡充された経営改善計画作成システムなどを活用して、財務データによる課題の掘り起しや経営改善計画の策定支援、さらに計画のフォローアップなどについて支援を行い、会計情報を経営判断に活用する管理手法の導入について支援してまいります。

消費税転嫁対策窓口相談等事業

巡回型専門家等 派遣事業 がスタート!

平成26年6月1日より、県内3カ所に巡回型専門家等を設置し、白色申告や新規創業者など記帳が不十分な事業者を中心に巡回訪問し、「ネットde記帳」の普及促進を行っています。



かづの商工会
きむら やすこ
木村 康子



由利本荘市商工会
あべ ゆみこ
阿部 祐美子



よこて市商工会
いとう あきお
伊藤 明雄

商工会推奨
インターネットでできる **ネットde記帳**

銀行からの借入がスムーズに進みました。
苦手の経理が克服できてうれしい!
ネットde記帳でできた時間の余裕を、接客活動に充てています。
数字を入れるだけで簡単!
収入と支出のバランスがとれるようになりました。

ネットde記帳の便利ポイント

どこでも使えてとっても便利!
インターネットが使えるパソコンがあれば、会社や自宅ですばやく伝票入力や元帳などの確認ができます。

データ管理も安心!
パソコンの故障や災害などがあってもお客様の大切なデータが失われないようしっかり管理します。

わかるまで、できるまでしっかりサポート!
お客様と同じ画面を見ながらのアドバイスや、付箋機能を利用した質問受付などにより、丁寧にサポートします。

簡単操作で申告まで!
分かりやすい入力画面で決算書や所得税申告書、消費税申告書まで作成可能。電子申告も行えます。

低予算で手間いらず!
月々のお手頃な費用でご利用可能。しかも、導入やバージョンアップでお手を煩わせることもありません。

部門や事業別の管理ができる!
製造業や建設業、個人は農業・不動産にも対応。また部門管理機能により複数の部門があっても大丈夫!

各商工会職員も巡回訪問や相談に対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

商工貯蓄共済・会員福祉共済

昭和35年

商工貯蓄共済
貯蓄
生命保障
融資斡旋

平成11年7月

総合補償制度
傷害補償
休業補償

平成19年11月

会員福祉共済 秋田県版
傷害補償
医療特約

平成22年11月

会員福祉共済
傷害補償
医療特約
がん重点補償

平成25年4月

会員福祉共済
傷害補償
医療特約
トータルがん補償
シンプルがん補償

商工貯蓄共済

加入者数:7,163人 加入口数:44,288口
(基準日:平成26年6月30日)
「一部払出制度」で貯蓄積立金を引き出すことができ、満期更新時は告知不要です。

全国商工会経営者 休業補償制度 秋田県版
休業補償

会員福祉共済

傷害: 6,523口 医療: 651口
休業: 835口 がん: 196口
(基準日:平成26年6月30日)
加入年齢制限がなく、1口1,000円からご加入いただけます。

共済加入者
喜びの声

商工会の共済にご加入いただいているお客様から喜びの声が寄せられていますので、ご紹介いたします。

会員福祉共済



不慮の事故で長期入院。でも、手厚い共済金で家計の負担もラクラク!

配達中に前方の車が急にバックをしてきて衝突。急なことで、首を強打したので動くことができず、約2カ月間の長期入院となりました。従業員のいない当社はやむなく休業せざるを得なくなり、その日以来、収入のない日々が続きました。でも、福祉共済に2口加入していたので、事故当日入院一日目から入院共済金を受け取ることができ、2カ月間の入院費を賄えました。ようやく退院した後も痛みが取れず、重い機材を持ち上げられなかったので、仕事を再開することができない日々が続きましたが、その間も通院共済金を受け取ることができ、通院費を賄えました。会員福祉共済の手厚い共済金のおかげで、家計の負担も小さく済むことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

【情報提供者:ナリタ写真店(写真機・写真機材小売業)代表 成田 三男 様(二ツ井町商工会)】

商工貯蓄共済



納税資金の計画的な積み立てで、確定申告も運転資金もばっちり!

私は、平成9年に消費税率が3%から5%に引き上げられたのを機に貯蓄共済を20口に増口し加入しています。増口したきっかけは、消費税率の引き上げで今まで以上に納税負担が重くなることを心配してくれた商工会の経営指導員から「消費税はお客様からの預り金だから、毎日の売り上げの中から計画的に積み立てておくことが大切です。計画的な積み立てをするために「商工会の貯蓄共済」をお勧めします。」と言われたことにあります。おかげで今では、貯まった積立金の中から消費税を納めることができ、さらに運転資金が必要なときも一部払出制度でいつでも引き出すことができるので、資金繰りで悩むことが少なくなったように思います。特に、今年から消費税率が8%に引き上げられましたし、近い将来には10%になるとも聞いていますので、貯蓄共済をもう少し増口しておこうかと思案中です。

【情報提供者:きらく(飲食業)代表 門間 司 様(湯上市商工会)】



会員福祉共済

商工会員向けキャンペーン実施中!

期間中(H26.6.1~H27.1.31)に会員福祉共済に加入された方に、もれなく
「図書カードを贈呈」します!



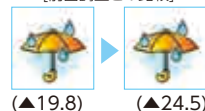
秋田県商工会地域景況判断ボード

平成26年4月～6月期

【全体】改善傾向から一転、4期ぶりの悪化に転じる

業況DI値は、前期調査より好転が2.2% (11.5%→9.3%)減少、悪化が2.5% (31.3%→33.8%)増加したことから4.7ポイント低下の▲24.5ポイントとなり、平成25年1-3月期以来、4期ぶりに悪化した。業種別に見ると製造業・建設業が大幅に悪化しており、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動や原材料価格の上昇を問題として挙げる企業が多く見受けられた。

[前回調査との比較]



【北部】



- 業況DI値は前期調査より11.6ポイント低下した。また、採算DI値も低下しており、原材料価格の上昇による影響が北部地域で顕著であった。
- 来期業況の見通しは、製造業、小売業が好転となり、建設業、サービス業は概ね横ばいとなる見込みである。

【中央部】



- 業況DI値を含め各調査項目が概ね横ばいになり、資金繰りDI値は6.5ポイント上昇した。
- 来期業況の見通しは、製造業、サービス業が好転となり、建設業、小売業は悪化する見込みである。

【南部】



- 採算DI値を除く各調査項目が横ばいまたは上昇となっており、特に売上DI値は12.2ポイント上昇した。
- 来期業況の見通しは、製造業、小売業、サービス業は好転となり、建設業は概ね横ばいとなる見込みである。

【製造業】



■今期の業況

業況DI値は前期調査より14.6ポイント低下した。原材料価格の上昇を経営上の問題点としており、資金繰りを除いて他調査項目も低下となった。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ10.9ポイント上昇しており、好転する見通しとなっている。

■設備投資

今期実施件数は8件あり、調査対象製造業の13.1%が設備投資を行なった。来期計画件数は5件となっている。



【建設業】



■今期の業況

業況DI値は前期調査より18.9ポイント低下し、大幅に悪化した。消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動で受注減となったことにより、平成25年7-9月以来の低水準となった。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ4.1ポイント低下しており、小幅ながら悪化する見通しとなっている。

■設備投資

今期実施件数は12件あり、調査対象建設業の25%が設備投資を行なった。来期計画件数は4件となっている。



【小売業】



■今期の業況

業況DI値は前期調査より3.1ポイント上昇の概ね横ばいとなり、低水準が続いている。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ1.8ポイント上昇しており、概ね横ばいとなる見通しである。

■設備投資

今期実施件数は9件あり、調査対象小売業の11.4%が設備投資を行なった。来期計画件数は8件となっている。



【サービス業】



■今期の業況

業況DI値は前期調査より2.3ポイント上昇の概ね横ばいとなった。季節的な影響もあり、売上DI値は20ポイント以上、資金繰りDI値は10ポイント以上と、他調査項目においても上昇した。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ5.8ポイント上昇しており、好転する見通しとなっている。

■設備投資

今期実施件数は9件あり、調査対象サービス業の8.7%が設備投資を行なった。来期計画件数は8件となっている。



北部トピックス

- 大館北秋
商工会と大館商工会議所が市へ要望していた従業員資格取得費を補助する方針が固まった。国家資格や国家検定の取得を要した経費の2分の1、上限10万円を補助するものである。
- 三種町
ワタナベデンキの子会社として設立された(株)極光が、三種町森岳の農地を利用しメガソーラー発電基地「ソーラーガーデンみたね太陽光発電所」を建設している。東北初となる秋田杉を使用した木製架台に太陽光パネルを設置する予定である。

中央部トピックス

- 男鹿市
福米沢地区で地下深くの岩盤に含まれる新型石油「シェールオイル」試掘作業が行われた。水圧で岩盤に割れ目を作ってガス・油等を採取する手法は国内初であり、11月頃本格的に試掘が開始される予定である。
- 由利本荘市
市が「企業支援貸工場」として旧TDK由利本荘(株)本荘工場を整備した。操業を希望する事業者を対象として雇用の創出を図ることを目的としており、現在は全5棟中3棟が入居済みである。

南部トピックス

- よこて市
増田地区で商店街の賑わい創出のため「空き店舗有効活用対策事業」を展開している。現在は2店舗が出店しているほか、6月1日からは「チャレンジショップ」を開店し、15業者及び団体が出店している。
- ゆざわ小町
商工会女性部による「おもてなし吟行プラン」が6月7日・8日の両日に開催された。32名の参加者は、小野小町ゆかりの地を巡ったほか、川連漆器蒔絵、稲庭うどん等の地場産業を体験した。

【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

【調査要領】

1. 調査対象 (1)対象地区:全21 商工会地区 (2)対象企業数:294 企業 (3)回答企業数:294 企業 (回収率:100%)
2. 調査対象時期 平成26年4月～6月期を対象とし、調査時点は平成26年6月1日とした。
3. 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

4. 調査対象企業数内訳

業 種	対象企業数			
	北 部	中 央 部	南 部	合 計
製 造 業	21	18	23	62
建 設 業	19	13	17	49
小 売 業	25	28	26	79
サ ー ビ ス 業	41	31	32	104
合 計	106	90	98	294

5. その他

- (1)前年同期とは平成25年4月～6月期、前期とは平成26年1月～3月期、来期とは平成26年7月～9月期のことをいう。
- (2)本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。